

別紙 2. 2019 年ゴルフ新ルールを紹介(第 56 回研修会)

(本資料は R&A、USGA、JGA のホームページ内容を元に編集したものです。)

規則に基づく場所の決定に関するプレーヤーの「合理的な判断」受け入れ		
規則 1.3b (2)	新	規則に基づいて、地点、線、エリア、その他の場所等を決定するプレーヤーの判断は、正確な推定や計測を行うために、その状況下で予期されるすべてのことをプレーヤーが行っていれば、その後の証拠(例えばビデオレビュー等)で間違いが判明しても罰はありません。
	現	プレーヤー自身の判断、主張は重視されない。委員会がすべての要素のレビューに基づいて、その推定や計測の正確さに関する問題を裁定します。(事後のビデオ判定での僅かな違反でもペナルティあり。)
ラウンド中に損傷したクラブの使用と修理		
規則 4.1a (2)	新	損傷の原因、程度に関係なく(怒って壊したとしても)、そのクラブを継続使用できます。或は修理ができます。但し、プレーのペースを遅らせることは出来ません。なお、プレー開始前の損傷は修理対象外です。
	現	「通常のプレー」での損傷は継続使用可能です。その損傷でプレーに適さなくなった場合に限り、クラブを交換出来ます。通常のプレー以外で損傷したクラブはその後の使用禁止、さらに交換もできません。
紛失または損傷したクラブの取り替え禁止		
規則 4.1b (3)	新	損傷がプレーヤーの責任ではない場合のみ、クラブ交換可能です。スタート前にクラブ本数が 14 本以下のときは、合計 14 本になるまでクラブを追加できます。但し、他のプレーヤーからのクラブ借用は不可。
	現	「通常のプレー中」に損傷し、「プレーに適さなく」なった場合は損傷クラブを取り替えることが出来ます。怒ってパターのシャフトを曲げた場合は修理も交換もできません。
ホールのプレー中に損傷した球の取り替え		
規則 4.2c	新	インプレーの球がプレー中に切れたり、裂けた場合に限り、プレーヤーは球を取り替えることが出来ます。その際、他のプレーヤーに告げ、確認をとる必要はありません。但し、擦り傷などの微小な変形だけでは取り替え出来ません。
	現	自分のインプレーの球がプレーに適さない場合(球が切れたり、ひび、変形が見て分かる)は別の球に取り替えることが許されます。但し、他のプレーヤーに告げ、確認と了解をとる必要があります。
速やかなプレーペース支援のために順番を変えてプレーすること		
規則 5.6b (2)	新	現在と同じで罰なしです。安全で責任ある方法でのプレーと積極的な「レディーゴルフ」が推奨されます。
	現	現規則 10-2b,c は違った打順でプレーすることが悪い、または認められないように書かれています。
「なぜ球が動いたのか」を決定する基準。		
規則 9.2b (2)	新	プレーヤー、相手、外的影響が球を動かした原因となったことが分かっているか、または事実上確実(少なくとも 95%)な場合だけ、原因があるものとみなされる。そうでなければ自然の力が動かした原因と見なす。
	現	どちらかと言えばプレーヤーが球を動かす原因になったと思われることを状況が示している場合(可能性を否定できない)、プレーヤーが球を動かしたとする。しかし、証拠(傾斜、風等)の要素が多く、判断が難しい。
パッティンググリーン上で自然が動かした球をリプレイスする場合		
規則 13.1d (2)	新	<ul style="list-style-type: none"> 球が動く前に、その球を拾い上げて元の箇所にリプレイスしていた場合、球の動いた原因に関係なく、その球は常に元の箇所にリプレイスしなければなりません 球が動く前で、まだその球を拾い上げていなかった場合だけ、その球は新しい箇所からプレーしなければなりません。
	現	プレーヤーは、その球がプレーヤー、キャディー、局外者(動物、観客、動いている物)によって動かされた場合、その球をリプレイスしなければなりません。 しかし、その球が風、水、その他の自然の力(重力のような明らかではない影響により球が動いた場合も含む)によって動かされた球は常に新しい箇所からプレーをしなければなりません。

		パッティンググリーンの外にある球を動かした場合のリプレース方法。(球探し等)	
規則 14.2c	新	推定した箇所が、根付いている自然物の上や下等、動かせない障害物に触れていた場合は同じようにリプレースしなければなりません。元の箇所が正確に分からない場合も同じ状況にプレース。 なお、取り除くと球が動く可能性のあるルースインペディメントは取り除けません。(15.1a 例外 1)	
	現	推定した元の箇所にできるだけ近い所にリプレースすることによってその球をインプレーに戻す。	
		自らのピッチマークにくい込んだ球に対する救済を受ける。	
規則 16.3	新	「ジェネラルエリア」(スルーザグリーンに代わる新しい語)のどこでも地面にくい込んだ球を罰なしに救済を受けることができる。但し、ローカルルールで救済をフェアウイの芝長さ以下に刈った区域に制限できる。	
	現	ローカルルールでスルーザグリーン全域(砂を除く)での救済を認めていなければ、フェアウイの芝の長さ以下に刈った区域のみ救済が認められる。	
		新しいストロークプレーの他の形式「最大スコア」	
規則 21	新	ストロークプレーの形式「最大スコア」の許可。各ホールのプレーヤーのスコアは委員会が設定した最大スコアに制限する(例えば、ダブルパー、決めたスコア、ネットダブルボギー)。	
	現	通常の個人ストロークプレーでは、プレーヤーは、すべてのホールをホールアウトしなければならない。ホールアウトを必要としない許可されているストロークプレーの他の形式はステブルフォードと、パー/ボギー競技だけである。	

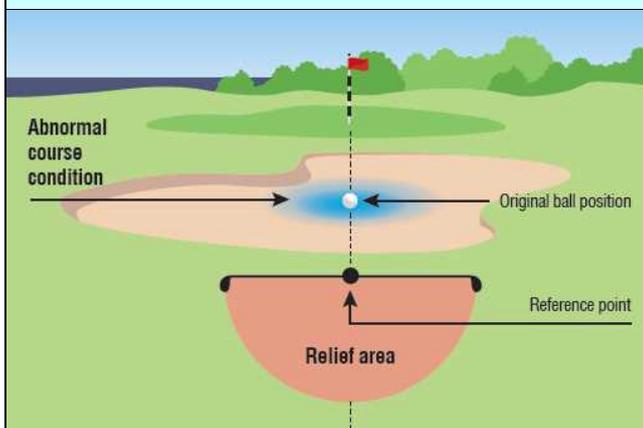
プレー進行のためのローカルルール

ショットが OB またはロストボールとなった場合、暫定球を打っていないければ元の場所に戻ってのプレーとなるため進行が遅れます。それを防ぐため所謂「プレーイング 4」相当のローカルルール設定を推奨、ルール案も紹介されています。(下図参照)

[Stroke and Distance: New Local Rule](#)



新しいルールブックは図を使って分かり易くなります。



今後発行予定のルールブック：

- (1) The Player's Edition of the Rules of Golf
プレーヤーのための簡約版。ポケットサイズ
- (2) The Rules of Golf
すべてのルールを網羅した完全版
- (3) The Official Guide to the Rules of Golf
従来の裁定集と同等の内容

何れも左のような図を多く使って分かり易くなる予定です。

詳細は以下の URL にて紹介されています。

USGA (<http://www.usga.org/content/usga/home-page/rules-hub/rules-modernization.html>)

R&A (<https://www.rules.golf/>)

JGA (<http://www.jga.or.jp/jga/jsp/rules/news.html>)